

今年度の校内研究の方向性について

1. 前年度の研修

- ・算数3年目（まとめの年）を終えた。教育研究所の先生のご指導の下、算数科のつまずきやすい単元を把握し、つまずきを解消して活用型学力を育てる指導法について研究することができた。
- ・柏市学力・学習状況調査の結果を基に、本校児童の傾向や実態を把握することができた。
- ・新学習指導要領での、学習評価の重要なポイントである「日常生活との関連」や「筋道を立てて説明する力（根拠を基に、図や式等を用いて）」を意識して、授業を組み立てることができた。※自分の考えを書くことや表現することに重きを置いてきた。
- ・ホワイトボードを活用した授業スタイル（流れ）を共通理解することができた。

2. 今年度の方向性（昨年度の反省を踏まえて）

- ・研究 国語1年目
- ・「活用型学力」という言葉がわかりにくいという反省のもと、「思考力・判断力・表現力」という言葉に置き換えた。
- ・昨年度まで大切にしていた、「自分の考えを書くことや表現すること」については継続する。※領域については限定しないこととする。
- ・ICT活用について模索していく年としたい。
⇒ただし、ICT活用はあくまで手段であり、活用に当たっては、育成を目指す資質・能力との関連を明確にすることが重要である。
- ・一人一授業の展開についての検討 ※昨年度同様、事前事後の学団検討含む。
- ・家庭学習の継続

3. めざす児童像

- ①自分の考えをもち、わかりやすく表現できる子
- ②相手の思いや考えを受け止め、認めることができる子
- ③仲間と学び合うことで、喜びや楽しさを感じることができる子

4. 研究テーマ

「思考力・判断力・表現力を育てる指導法の研究～国語科の教材研究の充実をめざして～」

5. 研究仮説

- ①魅力的な単元のゴールを設定し、伝え合うよさが実感できるような指導を工夫することで、思考力・判断力・表現力を身につけることができるだろう。

6. 検証方法（昨年度のもの、研推部で検討）

- ①自分の考えを伝え合う児童の姿（行動分析）（ノート分析）
- ②単元の学習のまとめに位置づく確認問題の解答状況
- ③柏市学力・学習状況調査の活用
学力調査：国語科 A 及び B 問題
学習状況調査：意欲，習慣，主体性
- ④児童の学校生活アンケート：意欲，習慣，主体性

7. 研修日：原則毎週木曜日

【研究推進部 役割分担】

- 全体計画・運営：
- 学びスイッチ作り：各学年
- 校内研究会 講師派遣申請・指導主事の先生との連絡調整：教頭先生・教務主任
- 研究紀要： +教務主任+研推部
- 柏市学テ関係：教務主任+ +各学年
- 全国学テ関係：教務主任+6年
- 研究協議会準備： +研推部
- ※指導案印刷：各学年

8. 校内研究会の予定

- 9月 1年生 ， 6年生
- 10月 2年生 ， 5年生
- 12月 3年生 ， 4年生
- 11月 ひまわり・おおぞら

9. 今年度の現職研修希望内容（みなさんから出てきた案）

- ・図工（県展に向けて） ・ICT 関係 ・プログラミング ・懇談会の仕方
 - ・社会科の授業 ・（コロナ化でもできる）室内レク ・道徳
 - ・国語の単元のゴール（紹介し合う） 等
- ※こちらをもとに，考えていきます。

令和3年度 講師
柏市教育委員会 指導課
先生